

第15回

樹海ロードを通り 山の道をたどり 占冠そして新得へ

先日、新得へ。普段は列車で行くことが多いのだが、この日は長沼に住んでいる友人と車で行くことになった。石勝樹海ロード（国道274号）から道道136号へ、1117号を通り、狩勝峠＝国道38号で新得まで。この道を通るのはとても久しぶりだった。

懐かしく感じる石勝樹海ロードは、とても困難な道路作りだったと記憶している。開通した頃は札幌圏と帯広方面をつなぐ、とても便利な道として交通量も多かったはずだ。しかし高速道路ができて久しく、交通量は少し寂しいものだった。高速道路は目的地に急いで行くときや遠くに行くときには便利だけれど、風景を楽しみながら、ところどころで寄り道もできて、ゆっくり山のドライブを楽しめるのは、このような道路だなあと実感しながら、途中、夕張の道の駅でお土産のメロンやスイカを買い込んだ。

占冠村に入り、町外れにある友人宅へ。半年以上ぶりに会う友人と3人で近況を伝え合い、発行物の打ち合わせを行った。そして、またの再会を願い新得へ。38号の狩勝峠を越えて大きなカーブを南下すると新得だ。

新得での目的は来道していた熊本のお茶農家さんにお会いすることだった。お茶を囲むべく集まった人たちは農家や酪農家はもちろん、酪農家志望の学生などで、おいしいお茶を通して交流した。山の道をゆっくりたどるようにやってきたせいか、人の手で慈しまれてできたお茶の味は、なんともいえず感慨深かった。

山の道は、すこし開けたところに人の住む集落があり、また険しい山間や川になり、また集落が現れる。なんだか山々の懷に潜り込んだような感覚だ。人が山を開拓した跡をたどるような山間の集落をつなぐ道を、その存在を、忘れてはいけないような気持ちになった。



すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ？」（アリス館）「おいしい大地、北海道」（イースト・プレス）がある。また、新作絵本「はたけのごちそうなーんだ？ くだもの」（アリス館）が4月19日に出版。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにここと」。

